

J-MICC Study静岡地区の進捗状況

日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study) は、生活習慣や遺伝的体質とがんなどの生活習慣病との関係を調べるため、2005年にスタートしました。その後多くの皆様にご協力をいただき、J-MICC連合を含めた全国の研究協力者数は2011年末までに8万人を超えています。

このうち静岡地区では、2006年から2007年にかけて聖隷予防検診センターの人間ドックを受診された方々に研究参加をお願いいたしました。参加同意をいただいた方には生活習慣などのアンケートにお答えいただくとともに血液と尿をご提供いただき、現在5,021人の方に引き続きご協力をいただいております。研究参加者の皆様には通常、生活習慣病（がん、心臓病、脳卒中）にかかられたかどうかを調べるための定期的なアンケート（「健康状態のおたずね」）へのご回答をお願いしていますが、さらに、研究参加時（第一次調査）からの皆様の生活習慣や身体状態の変化を調べる目的で、2012年1月より第二次調査を開始いたしました。

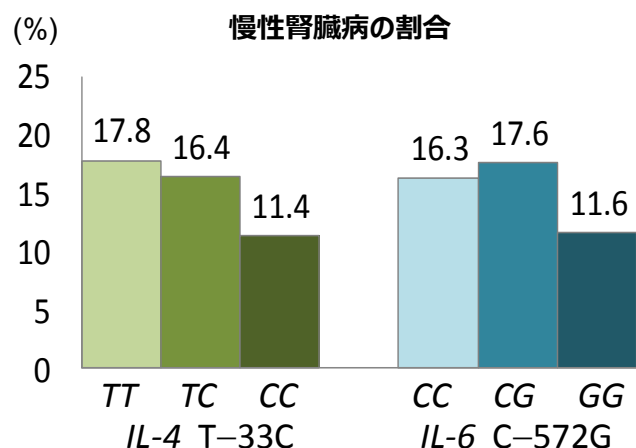
第二次調査に際してはあらためて参加同意をいただき、第一次調査とほぼ同じ内容の生活習慣などのアンケートとともに血液・尿のご提供をお願いしております（採血は人間ドックと同時にいきます）。1月からこれまでに受診されたJ-MICC Study静岡地区参加者のうち、約9割の方に第二次調査へのご協力をいただきました。

腎機能が悪くなりやすい遺伝子の型

慢性腎臓病の割合は、炎症性サイトカインの遺伝子多型によって異なる

私たちの体は厳格に制御された強力な免疫機構に守られています。しかし、その制御が乱れて強く働きすぎると自分自身の体を痛めることがあります。免疫の活動のひとつを炎症反応と呼びますが、炎症反応を引き起こすサイトカインという細胞どうしの情報伝達物質の過剰が持続すると、大事な内臓の血管を痛め、心筋梗塞や腎不全になりやすくなると考えられています。

J-MICC研究に参加された3,323人の方の腎臓の機能と炎症性サイトカインの遺伝子多型の関連について調べたところ、炎症反応を引き起こす作用のあるサイトカインのひとつであるインターロイキン6 (IL-6)を少なく産生する遺伝子多型 (IL-6の遺伝子の-572の位置の遺伝子がGG型)の人や、炎症反応を抑える作用のあるインターロイキン4 (IL-4)を多く産生する遺伝子多型 (IL-4の遺伝子の-33の位置の遺伝子がCC型)の人では、腎臓の機能が悪い「慢性腎臓病」の割合が「少ない」ことが分かりました。また両方の遺伝子多型を持つ人では、より慢性腎臓病が少ないことも分かりました。



近い将来、腎機能が悪くなりやすい遺伝子多型を持つ人は、血圧や血糖や肥満を十分コントロールして、腎臓病にならないように予防していくことが出来るようになるかもしれませんね。

J-MICC Study各地区の進捗状況（参加者数は2011年12月時点）

こちらでは、現在までのJ-MICC Study各地区の進捗状況をご報告します。

研究機関名（参加者数）	進捗状況
千葉県がんセンター（7,499名）	印西市、我孫子市、柏市の住民を対象にベースライン調査と追跡調査実施中。
静岡県立大学（1,122名）	静岡県内の人間ドック受診者および企業健診受診者を対象に、桜ヶ丘総合病院健康管理センターでベースライン調査実施中。
愛知県がんセンター（7,784名）	愛知県がんセンター受診者を対象に、ベースライン調査、第二次調査、追跡調査実施中。
名古屋市立大学（6,554名）	岡崎市医師会公衆衛生センターの人間ドック受診者を対象にベースライン調査と追跡調査実施中。
名古屋大学・静岡地区（5,021名）	聖隷予防検診センターの人間ドック受診者を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
名古屋大学・大幸地区（5,151名）	名古屋市の住民を対象にベースライン調査を実施。現在、追跡調査実施中。
滋賀医科大学（2,400名）	高島市の住民を対象にベースライン調査、第二次調査、追跡調査実施中。
京都府立医科大学（2,889名）	京都市内の人間ドック受診者および京都府内の企業健診受診者を対象にベースライン調査と追跡調査実施中。
徳島大学（1,558名）	徳島県総合健診センターの人間ドック受診者および徳島県内の企業健診受診者を対象にベースライン調査と追跡調査実施中。
佐賀大学（12,069名）	佐賀市の住民を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
鹿児島大学（5,176名）	5島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）で地域住民を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。

事務局からのお知らせ



J-MICC Study 静岡地区・第二次調査にかかわる主要スタッフです。どうぞよろしくお願いたします。

研究に関する問い合わせ先：

- ◆名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2132（平日9:30～16:30）
FAX 052-744-2971
- ◆聖隷予防検診センター 健診看護課 担当：桑原
〒433-8558 浜松市北区三方原町3453-1
TEL 053-439-1115（平日9:00～16:30）

これまでに、静岡地区の皆様より得られましたデータから学術論文13編、学会発表48テーマを公表させていただくことができました（2012年3月現在）。本研究にご参加いただいている皆様にご報告いたしますとともに、今後も引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。